



図書館だより



NO.332 2026年1月号
(2026年1月5日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1



ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/> ⇒ QRコードはこちら

令和7年度子どもと本の講座

はじめてみよう！

心つながるストーリーテリング

ストーリーテリングとは、語り手が昔話などの物語を覚え、語り聞かせる手法です。聞き手は、語り手の声のみでおはなしの場面を想像しながら楽しむことで、おはなしをより身近に感じ取ることができます。

本講座では、ストーリーテリングの魅力やおはなしの選び方、語り方のポイントなどを実演や実技を交えて学びます。

全3回

回	とき (全3回)	内容	講師
1	2月15日(日) 10時30分~12時30分	ストーリーテリング (おはなし)とは	安田女子大学非常勤講師 小林いづみさん
2	3月1日(日) 10時30分~12時30分	おはなしの選び方	ブックトークの会ピッピ代表 梅地佳代子さん
3	3月15日(日) 10時30分~12時30分	おはなしを語る・聞く	安田女子大学非常勤講師 小林いづみさん

ところ：はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ会議室

対象：ストーリーテリングを始めたい人、活動をしている人など。経験年数は問いません。

定員：15人 (先着順、3回とも出席できる方優先)

申込：令和8(2026)年1月13日(火)9時~受付開始

はつかいち市民図書館まで直接または電話(0829-20-0333)で

ストーリーテリングに
興味のある方なら、
だれでも参加可能
参加無料

《1月の中央展示①》

『子ども司書おすすめの本』

廿日市市教育委員会主催で、廿日市市内の小学6年生を対象とした、令和7年度「子ども司書」養成講座が行われました。

子ども司書たちが作ったおすすめの本を紹介するPOPと、子ども司書になるために読んだ本を集めて展示しています。

《1月の中央展示②》

『中学生が読んでいる本』

中学生が今、どんな本を読んでいるかご存知ですか？

七尾中学校・野坂中学校・阿品台中学校・廿日市中学校から、おすすめの本を紹介するブックカードを借り受けて、所蔵している本と一緒に展示しています。

展示期間：1月21日(水)まで

《1月の企画展示》

はじめる? **今年こそ!!** やめる??

新年を駆ける うまどし 午年にちなんで

三日坊主に
ならないための

『スタート応援 ブック』

日記を書く、資格を取る、勉強を始める、断捨離する、習慣を変える…などなど。

1年の始まりに、「今年こそは!!」と思うことはありませんか？

そんなあなたのスタートに役立つ本を集めてみました。

展示期間：1月31日(土)まで



新しく入った本(一般書)



図書館に新しく入った本の一部を紹介します。

『ブレない人』	望月衣塑子／著	講談社	070.1/ㇿ
『安芸巖島社』	松岡久人／著	法蔵館	H175.9/マ
『2泊3日のぶらり日本史あるき』	河合敦／著	青春出版社	S210.0/カ
『日本文化、寄り道の旅』	彬子女王／著	扶桑社	361.5/ミ
『広島のともしび』	平尾直政／著	地平社	369.3/ヒ
『じゃないほうの肩こり』	歌島大輔／著	サンマーク出版	493.6/ウ
『ずぼら薬膳』	ロン毛メガネ／著	大和書房	498.5/ロ
『そうです、私が美容バカです。極ツヤ』	まんきつ／著	マガジンハウス	595/マ
『マンガでわかる多肉植物はじめます!』	こたきさえ／著	日東書院本社	627.7/コ
『小さな幸せで満たす日々』	常盤貴子／著	主婦と生活社	772.1/ト
『聞いて、話せる!おでかけ日本語会話』	あかね／著	アスク	810.7/ア
『夏井いつきの「凡人俳句」からの脱出』	夏井いつき／著	NHK出版	911.3/ナ
『もうしばらくは早歩き』	くどうれいん／著	新潮社	914.6/ク
『しっぽのカルテ』	村山由佳／著	集英社	F/L



過去の新聞は図書館
書庫にあります
掲載紙面は図書館内に
掲示しています
ぜひ
ご覧ください!!

当館主催 11/24 実施の戦後 80 年非核平和事業

講演会「一冊の絵本ができるまで
-作家と編集者が語る戦争を子どもたちに伝える作品作り-」

の様子が、**毎日新聞**に掲載されました。

講演会では、『いま、日本は戦争をしている-太平洋戦争のときの子どもたち-』

(堀川理万子絵と文 小峰書店)制作過程のお話を著者の堀川さん、取材に協

力した子どもの本作家の中澤晶子さん、小峰書店担当編集者
の小林美香子さんから伺いました。

◆毎日新聞紙面掲載

令和7(2025)年12月12日(金)
19面に、写真入りの記事が載っています

◆毎日新聞のニュースサイト「毎日新聞デジ タル」にも、記事が出ています

絵本作家が向き合う 地続きの問題「いま、
日本は戦争をしている」

<https://mainichi.jp/articles/20251210/k00/00m/040/354000c>



堀川 理万子/絵と文 小峰
書店 2025年6月発行



左から小林さん、中澤さん、堀川さん

今年うま年



今月は馬が登場する本を3冊紹介します。(上から順に絵本、幼年童話、物語です。)

ある日、男がうまを買いに市場へ行くと、うまのたまごなら安くてお買い得! と一人の男が声をかけてきました。そこで男はそのたまごを買いましたが、なんとそれは大きなかぼちゃでした。男はそのままかぼちゃを背負って帰りますが、途中で疲れて居眠りしてしまい…。ベンガルのゆかいな民話です。

『たまごからうま』酒井公子/再話 織茂恭子/絵 偕成社 E/オ

田舎でのんびり暮らしていた馬はある日、旅のバレエ団の踊りを見て夢中になり、町のバレエ学校に入学します。一生懸命に練習した馬はやがて学校の人気者になり、ついに卒業式では最優秀賞をもらいます。ところが「馬にバレエが踊れるはずがない」と町のバレエ劇場で入団を断られてしまいます。気落ちした馬を元気づけようと下宿のグレーネおばさんは、あることを思いつきました。さてそれは…。

『バレエをおどりたかった馬』H・ストレンベルグ/作 菱木晃子/訳 さとうあや/絵 福音館書店 949/ス

おもちゃ作りのピーダーおじさんは、きれいで立派な小さな木馬を作りました。ある日、木馬は病気になったおじさんを助けるため、お金を稼ぎに旅へ出ます。タダ働きをさせられたり、炭坑で爆発事故に遭ったりと旅は困難の連続でした。ペンキがはげ、足車は何度も壊れボロボロになっても、木馬はいつも一生懸命に働き、旅先で出会った人に助けられます。やさしく、たくましい小さな木馬の物語です。

『木馬のぼうけん旅行』アーシュラ・ウィリアムズ/作 石井桃子/訳 ペギー・フォートナム/画 福音館書店 933/ウ

児童展示②に、馬に関する本を集めています。馬の本を読めば、今年ウマくいくかも!

としょかんスタンプカード

11月1日(土)～11月30日(日)の期間、「としょかんスタンプカード」を発行し、本を1冊借りる毎にスタンプを1個押印して、20個集めると雑誌の付録等を抽選でプレゼントするイベントを行いました。

期間中、たくさん本を借りてくださってありがとうございました！

当選結果は12月13日(土)以降、各図書館及びホームページで、当選者の抽選番号を発表しています。当選者は受取館のカウンターにスタンプカードの半券をご提示ください。当選品をお渡しします。

※受け取り期間は1月31日(土)までとなります。受け取りに来られなかった場合、当選は取消となりますのでお気を付けください。

当選数と応募数

- ・女性向け 59個(応募数324)
 - ・男性向け 27個(応募数144)
 - ・女の子向け 52個(応募数296)
 - ・男の子向け 33個(応募数185)
- 計 171個(応募数949)**



たくさんの
ご応募ありがとうございました！



1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 休館	2 休館	3 休館
4 休館	5	6	7	8	9	10 ☆
11	12	13	14	15	16 ◎	17 ◆
18	19	20	21	22 休館	23	24 ☆
25	26	27	28	29	30	31

◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【定員】各回先着6組程度 ※整理券が必要です。

【時間】1回目 10時30分～

2回目 11時～

整理券は、相談カウンターで配布しています。

☆ おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】10時30分～

◆ ストーリーテリングのおはなし会

【対象】5歳～大人

【時間】10時30分～